

寄せられた意見

No. 153-1

受付日	H18. 8. 8	年齢	59歳	居住 市町村名	下川町
件名	意見書				

意見書

平成18年8月8日

天塩川流域委員会事務局 御中

河川整備計画についてご意見申し上げます。

1. 意見申込者

下川町 年齢59歳(男)

2. ご意見

平成5年に着手されたサンルダム建設は本年12年を経過し、この間、早期本体着工を願い、あらゆる要望活動を展開して参りました。さらに現在近隣市町村とで早期建設を願い、町・市民大会を開催し、同時に現地ダム周辺の自然維持を配慮し植樹祭等の整備取り組みも行い、下川町民はもとより、他の町村から訪れる人達にとって癒しの場として、重要な地域と位置付け提言して参りました。

特に、サンルダムは洪水調節・河川の環境保全・水道用水の確保・エネルギーの供給を目的とした貴重な多目的ダムであり、重要な施設として私ども地域住民は認識しております。

そのような中で、自然環境破壊と治水効果が少ないとの事柄などを掲げダム建設の中止意見も出されておりますが、本年4月にテレビ等の報道でもご存じの通り、4月は記録的な豪雨が、日本列島各地に台風以上の大雨が降り、農地や農業用施設に冠水や土砂崩れの被害が続出、各地で大雨の記録を更新。


農水省は6月下旬以降の豪雨の農林水産業被害総額は1,000億円を超えたことを発表しております。また、7月上旬より活発化した梅雨前線により九州、四国太平洋側、近畿南部で大雨となり農地が冠水する被害、さらに各地において土砂災害や低地の浸水、河川の増水や氾濫による土石流木の被害、特に7月中旬の大雨では甲信越から中国地方にかけ、土石流や土砂崩れなどが相次ぎ、死者10人不明13人を上っている被害が出ており、これは土砂災害や河川の堤防決壊も一因とのことであります。熊本県は大雨による農業関係

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 153-2

受付日	H18. 8. 8	年齢	59歳	居住 市町村名	下川町
件名	意見書				
<p>の被害総額は12億円と発表しております。</p> <p>私は下川町という農村地域で育った住民として、特に農業被害報道でこの脅威にさらされたことに対し、心を痛めている一人であり、今後、温暖化・気象異変を考えると、人為的に危機管理が可能な施設等の建設については、天塩川流域委員会の清水委員長様をはじめ、開発建設部の方々のご苦勞を知りつつも、早急に着手されることを願うものであります。</p>					

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています